
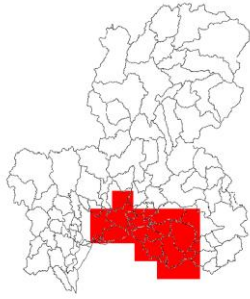


イチモチソウ	<i>Drosera peltata</i> Thunb. var. <i>nipponica</i> (Masam.) Ohwi	絶滅危惧Ⅱ類	
(環境省:準絶滅危惧類)		モウセンゴケ科	
選定理由	生育地が非常に減少しており、個体数も少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室) 	
形態の特徴	多年草。地下に球形の塊茎がある。茎は高さ10-30cm。葉はまばらの互生し、三日月形で幅4-6mm、表面と縁に長腺毛がある。根出葉は花期にはなくなる。花期は5-6月、初めは頂生し、後には葉に対生し、2-10個の白花を付ける。		
生態的特徴	明るい湿地や湿った裸地に生育する。		
分布状況	本州(関東以西)・四国・九州・琉球に分布する。県内では、県南の東部に分布するが少ない。		
減少要因	湿地の開発。		
保全対策	生育地の保全。		
特記事項			
参考文献			

文責:須賀瑛文